

BPW製ECO軸アクスルナットは1～15度戻しが必要です

本資料は、BPW製ECO軸に使用されるアクスルナットの締め付け・戻し作業に関する重要な整備手順をまとめたものです。特に、150Nmでの締め付け後に必ず1～15度戻すという工程は、ベアリング焼付き防止のために不可欠です。

作業の流れや注意点についても記載しています。ぜひ各ページをご確認ください。

1 対象車軸と識別方法

- ・対象: BPW製ECO軸 (ECO-MAXX軸)
- ・ハブキャップに「ECO」表記あり
→ ECOPlus 軸、ECOPlus3 軸と識別可能
- ・アクスルナットにロックピン穴あり

ECO の表記



【ハブキャップ】



【アクスルナット】

P2

2 アクスルナット締め付け作業の手順と重要ポイント

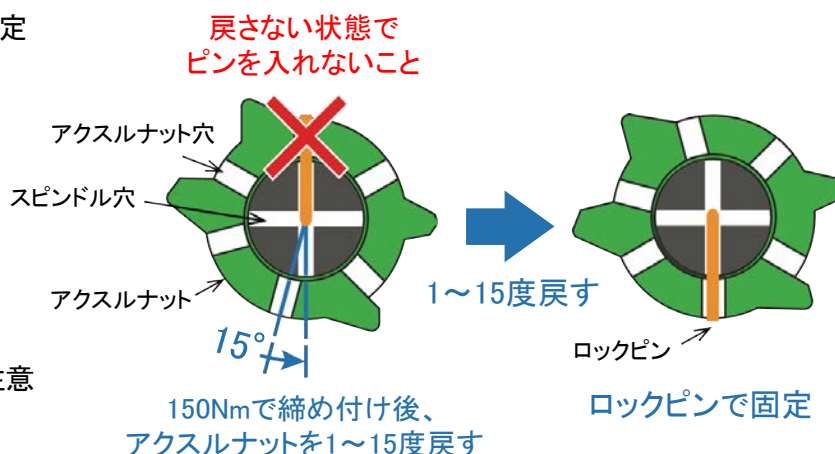
P3

- ・タイヤを回しながらトルクレンチで150Nmで締め付け
- ・必ず1～15度戻してロックピンで固定
→ 戻し角度が適正でないと、
ベアリング焼付きの原因に

ポイント

アクスルナット穴の間隔が不均等なため、最大15度戻すと穴位置が合う様に設計されています

※12.5トン軸は手順が異なるため注意



3 15度以内の穴の探し方

P5

- ・150Nmで締め付け後、穴位置が合った場合
→ この穴を使用せずに反時計回りで一番近い穴を使用します
- ・150Nmで締め付け後、穴位置が少し行き過ぎた場合
→ 1度以上15度以内でアクスルナットを反時計回りに戻すと穴が合うので、この穴を使用します
- ・150Nmで締め付け後、少し角度が足りない場合
→ この穴を使用せずに、残り5個のナット穴から反時計回りにスピンドル穴に近い所を使用します

ポイント

150Nm締め付け状態では、締め付け力が過多になりベアリング焼付きの原因に、
戻しすぎは固定不良の原因になります。必ず1～15度戻してください

BPW ECO軸(20インチ/10トン) 整備要領書は
右記の二次元コードからアクセスしていただき、
閲覧・PDFダウンロードが可能です。

BPW ECO軸(20インチ/10トン) 整備要領書→



トレクスホームページでその他整備
要領書を公開しております。

「日本トレクス」で検索 → 「サービス情
報」 → 「整備マニュアルダウンロード」



1 対象車軸と識別方法

【該当車軸はハブキャップの表記で識別することができます】

ECO軸のハブキャップには
ECOと表記されておりECO Plus 軸や
ECO Plus3 軸と識別可能です。



ECO Plus 軸



ECO Plus3 軸

※トレクスでは、10トン20インチドラム軸等に採用されており多くの車両に取付けられています。



ECO の表記

【ロックピン穴ありのアクスルナット】

ECO軸(ECO-MAXX軸)は
右記写真の様に
ロックピンで固定するため穴があります。

ロックピン



ロックピンスプリング

アクスルナット穴

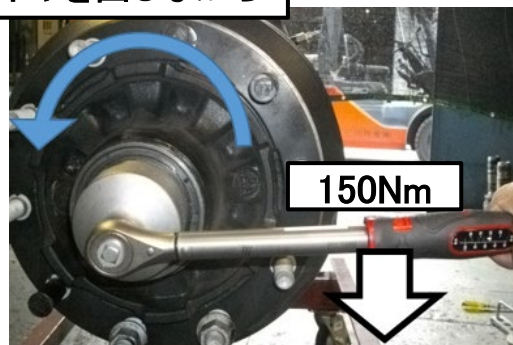
上記写真のBPW製ECO軸のアクスルナットは、
タイヤを回しながら**150Nmでの締め付け後、必ず1度～15度戻して**
ロックピンで固定する必要があります

2 アクスルナット締め付け作業の手順と重要ポイント

【締め付け作業の手順 ①～④】 ※作業開始前に整備要領書を必ず一読下さい。

- ①タイヤを締め付け方向と反対に回しながらトルクレンチを使い150Nmでアクスルナットを締め込む。

タイヤを回しながら



- ②アクスルナットを必ず1度～15度戻し、ロックピンで固定する。

⚠ 注意

150Nm締め付け状態では、締め付け力が過剰になりベアリング焼付きの原因になります。

→戻し忘れにご注意下さい。

⚠ 注意

1度以上15度以下戻して下さい。

→戻し過ぎにご注意下さい。



アクスルナット

例:150Nm締め付け時 穴が合う場合 (図1)

※他事例はP4「15度以内の穴の探し方」参照

この穴を使用せずに反時計回りで一番近い穴を使用します。

150Nm締め付け後、右イラストのように穴位置が合っている(A位置)場合は、反時計回りにアクスルナットを15度回転させ、D位置でロックピンを固定して下さい。

ポイント

アクスルナット穴の間隔が不均等なため、最大15度戻すと穴位置が合う様に設計されています。

※12.5トン軸(ハブキャップにECOの表記無)はナット穴の間隔が均等なため、本資料の戻し角度とは異なります。ご注意ください。

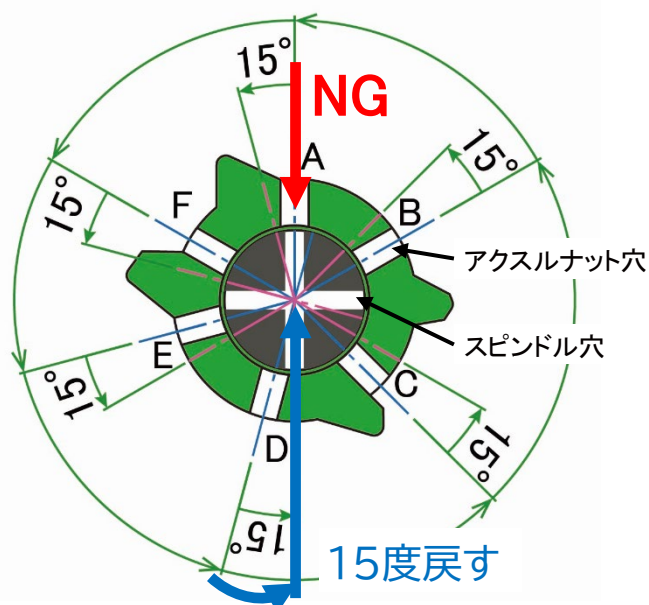


図1: 150Nm締め付け時 穴が合う場合

2 アクスルナット締め付け作業の手順と重要ポイント

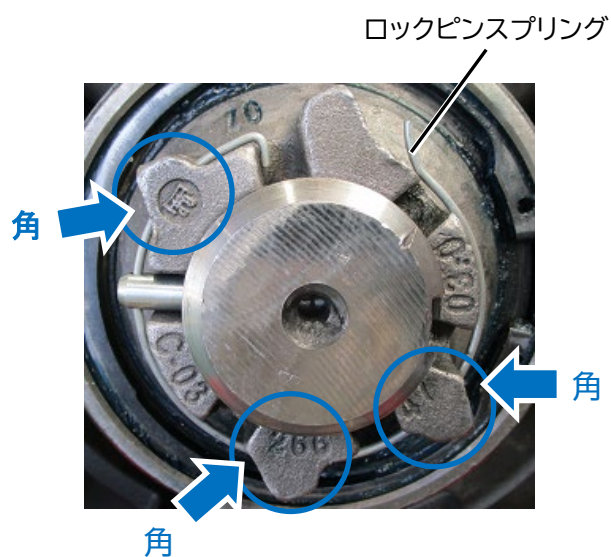
- ③ロックピンスプリングをアクスルナットの角に
ひっかけて、ロックピンを確実に止める。

※アクスルナットの種類と注意点

角に3カ所かかる場合
→3つの角で確実に止める。

角に4カ所かかる場合
→4つの角で確実に止める。

※スプリングが変形して溝からはみ出る
ときは交換してください。



- ④ボール等でガタつきをチェックする。

少しでもガタ付きがある場合は、分解点検する。
ガタつきが治らない場合は、車軸Assyを交換する。

3 15度以内の穴の探し方

1. 150Nmで締め付け後、 穴位置が合った場合

この穴を使用せずに反時計回りで
一番近い穴を使用します。

ポイント

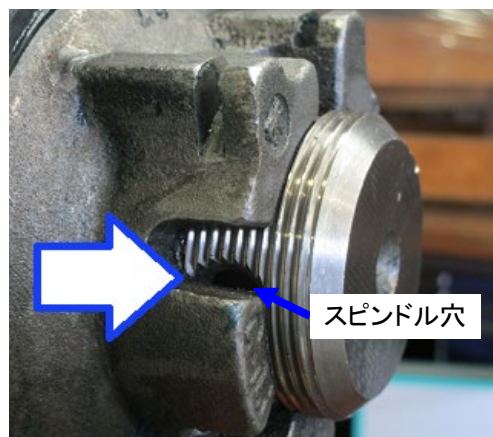
残り5個のナット穴から右写真のように、
穴を探して下さい。

ポイント

一番近い穴はナット穴からスピンドル穴が
見えています。

反時計回り方向に必ず1個見える穴があります。

この穴は使用禁止
(穴位置が合う所はNG)



2. 150Nmで締め付け後、 穴位置が少し行き過ぎた場合

1度以上15度以内でアクスルナットを反時計回りに
戻すと穴が合うので、この穴を使用します。

⚠ 注意

右写真の場合、他の穴を使用すると
戻し角度が15度を超えてしまう。

**アクスルナットを
少しだけ戻し
この穴を使用する**



3. 150Nmで締め付け後、 少し角度が足りない場合

⚠ 注意

この穴は絶対使用しないこと。

ポイント

残り5個のナット穴から反時計回りに
スピンドル穴に近い所を探してください。

1度以上15度以内戻しで合う穴が必ずあります。

この穴は使用禁止

